

第二級海上特殊無線技士試験問題

(注) 解答は、答えとして正しいと判断したものを一つだけ選び、答案用紙の答欄に正しく記入（マーク）すること。

法 規 12問 } 24問 1時間
無線工学 12問

法 規

〔1〕 次の記述は、電波法に規定する「無線局」の定義である。□内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

「無線局」とは、無線設備及び□の総体をいう。ただし、受信のみを目的とするものを含まない。

- 1 無線設備の操作を行う者
- 2 無線設備の管理を行う者
- 3 無線設備の操作の監督を行う者
- 4 無線設備を所有する者

〔2〕 電波の主搬送波の変調の型式が角度変調で周波数変調のもの、主搬送波を変調する信号の性質がアナログ信号である単一チャネルのものであって、伝送情報の型式が電話（音響の放送を含む。）の電波の型式を表示する記号はどれか。次のうちから選べ。

- 1 J3E
- 2 A3E
- 3 F1B
- 4 F3E

〔3〕 第二級海上特殊無線技士の資格を有する者が、船舶局の空中線電力50ワット以下の無線電話の国内通信のための通信操作を行うことができる周波数の電波はどれか。次のうちから選べ。

- 1 470MHz以上
- 2 25,010kHz以上
- 3 4,000kHzから25,010kHzまで
- 4 1,606.5kHzから4,000kHzまで

〔4〕 総務大臣が無線局の免許を取り消すことができるのは、免許人（包括免許人を除く。）が正当な理由がないのに無線局の運用を引き続き何箇月以上休止したときか。次のうちから選べ。

- 1 3箇月
- 2 1箇月
- 3 6箇月
- 4 2箇月

〔5〕 総務大臣が無線局に対して臨時に電波の発射の停止を命ずることができるのはどの場合か。次のうちから選べ。

- 1 無線局が免許状に記載された空中線電力の範囲を超えて運用していると認めるとき。
- 2 運用の停止を命じた無線局を運用していると認めるとき。
- 3 無線局の発射する電波が他の無線局の通信に混信を与えていると認めるとき。
- 4 無線局の発射する電波の質が総務省令で定めるものに適合していないと認めるとき。

〔6〕 船舶局の免許状は、掲示を困難とするものを除き、どの箇所に掲げておかなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 受信装置のある場所の見やすい箇所
- 2 主たる送信装置のある場所の見やすい箇所
- 3 航海船橋の適宜な箇所
- 4 船内の適宜な箇所

第二級海上特殊無線技士試験問題

法 規

〔7〕 一般通信方法における無線通信の原則として無線局運用規則に定める事項に該当しないものはどれか。次のうちから選べ。

- 1 無線通信は、正確に行うものとし、通信上の誤りを知ったときは、直ちに訂正しなければならない。
- 2 必要のない無線通信は、これを行ってはならない。
- 3 無線通信に使用する用語は、できる限り簡潔でなければならない。
- 4 無線通信は、迅速に行うものとし、できる限り短時間に終わるようにしなければならない。

〔8〕 無線局がなるべく擬似空中線回路を使用しなければならないのはどの場合か。次のうちから選べ。

- 1 工事設計書に記載した空中線を使用できないとき。
- 2 他の無線局の通信に混信を与える虞^{おそれ}があるとき。
- 3 総務大臣の行う無線局の検査のために運用するとき。
- 4 無線設備の機器の試験又は調整を行うために運用するとき。

〔9〕 次の記述は、無線電話通信における遭難呼出しの方法について述べたものである。無線局運用規則の規定に照らし、 内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

遭難呼出しは、次に掲げる事項を順次送信して行うものとする。

- | | |
|-------------------|----------------------|
| (1) メーデー (又は「遭難」) | 3回 |
| (2) こちらは | 1回 |
| (3) 遭難船舶局の呼出名称 | <input type="text"/> |

- 1 1回
- 2 2回
- 3 3回
- 4 3回以下

〔10〕 緊急通信は、どのような場合に行うか。次のうちから選べ。

- 1 船舶又は航空機が重大かつ急迫の危険に陥るおそれがある場合その他緊急の事態が発生した場合
- 2 地震、台風、洪水、津波、雪害、火災等が発生した場合
- 3 船舶又は航空機の航行に対する重大な危険を予防するために必要な場合
- 4 船舶又は航空機が重大かつ急迫の危険に陥った場合

〔11〕 無線電話通信において、応答に際して直ちに通報を受信しようとするときに応答事項の次に送信する略語はどれか。次のうちから選べ。

- 1 送信してください
- 2 どうぞ
- 3 了解
- 4 OK

〔12〕 無線局は、遭難通信等を行う場合を除き、相手局を呼び出そうとするときは、電波を発射する前に、どの電波の周波数を聴守しなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 自局の発射しようとする電波の周波数その他必要と認める周波数
- 2 自局に指定されているすべての電波の周波数
- 3 他の既に行われている通信に使用されている電波の周波数であって、最も感度の良いもの
- 4 自局の付近にある無線局において使用している電波の周波数